

令和5年度文化芸術関係事業について

① 京丹後市文化芸術振興審議会

回数	開催日	内 容
第1回	7月20日(木) 13:30~16:00	(1) 文化芸術振興審議会について (2) 令和4年度文化芸術関係事業について (3) 令和5年度文化芸術関係事業について (4) 京丹後市都市拠点構想について

京丹後市における文化芸術の振興に関する基本施策および文化芸術の振興に関する事項について調査及び審議を行う。

令和5年度は2回の開催する予定であったが、1回の開催に留まった。

② 京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議

回数	開催日	内 容
第1回	1月30日(火) 19:00~21:00	(1) 文化芸術のまちづくり推進会議について (2) ワールドカフェ「文化芸術の魅力と可能性」
第2回	3月5日(火) 19:00~21:00	(1) 市の文化芸術事業の紹介 (2) グループワーク「京丹後市・文化芸術20年史をつくる」

京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進し、文化芸術によるまちづくりを進めるため、文化芸術の精通者や、文化芸術活動の経験者、文化芸術に関する団体等を含めた15名以内の会議体を設置。以下について取り組む。

・市文化芸術振興計画に基づき、「市民参加の公演、鑑賞体験の創出」、「文化資源のデータベース化、情報発信」、「文化芸術の環境整備」の具体的な事業の企画立案及び行動計画案を提案する。

・市が行う文化芸術事業に対する市や審議会の評価・分析に基づき、具体的な事業の改善策や今後の事業を提案する。

③ 京丹後市主催の文化芸術事業

●おとまち響プロジェクト

日常的に音楽をはじめ文化活動を行っている市民の練習や発表の場を創設するとともに、誰もが様々な場面や形式で音楽に触れる機会を提供する。

(1) まちかどピアノ事業

- ・旧丹波保育所のピアノを修繕し丹後王国「食のみやこ」のキッズスペースに設置
- ・市への寄付でいただいたスタインウェイを丹後文化会館ホワイエに設置

(2) まちかどピアノ貸出事業

- ・廃校のピアノを整備し貸出するもの。令和5年度貸出実績なし

(3) 音楽活動ができる環境整備事業

- ・電源を必要とする楽器等の演奏ができるよう、公演や施設等に電源設備を整備（丹後王国「食のみやこ」内、丹後文化会館外ステージ、峰山球場東屋）。

(4) 関連イベント

実施日	内 容	場 所	来場者数
5月14日 (日)	ダリル永岡 with アキコ ロビーコンサート	丹後文化会館 ホワイエ	約100人
5月21日 (日)	京丹後アートフェスティバル プレイメント 第13回総合文化祭「舞台芸能祭」 ミニ演奏会（峰山高等学校吹奏楽部）	丹後文化会館 ホワイエ	約100人
6月4日 (日)	ミニコンサート～あらためまして、ただいま！～（ヒメノアキラさんによるコンサート）	丹後文化会館 ホワイエ	約40人
8月7日 (月)	親子で楽しむコンサート 0歳から大人まで 楽しめる、歌とピアノとリズム遊びの1時間	丹後文化会館 ホワイエ	約104人
計			約344人

<成果・課題>

市民の日常的な音楽活動、音楽鑑賞の機会の増加につながった。

市民と観光客、若者と高齢者、プロとアマの隔たりなく、誰もが音楽にふれあえる機会を創出するとともに、にぎわいづくりや市民の文化・音楽活動への意欲醸成につながった。

●京丹後アートフェスティバル 2023

市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供する。

実施日	内 容	場 所	来場者数
9/23 (土) ～2/25 (日)	みるプログラム 安野光雅「旅の絵本Ⅱ」（イタリア編）、「歌の風景」、三津のちいさな芸術祭、Kaico「町を縫う」出張ワークショップ、丹後文化芸術祭、ECHO あしたの畑ー丹後・城崎、「アーティストがあたりまえにいるまち」、TANGO TEXTILE EXHIBITION 第74回丹後織物求評会、特別企画展「小牧源太郎展」、みねやま秋の文化祭、こども能「土蜘蛛」、おもしろ能楽講座、第13回安養寺「蠟燭能」、丹後万博2023、やさか芸能のつどい、京丹後市網野文化祭、丹後町文化祭、令和5年度久美浜町文化祭、第34回網野町ふれあいコンサート、大宮町文化祭、TANGO まるっぽ美術館、京丹後落語三人会、京都伝統文化の夢舞台、「大地は器 2023」、丹後吹奏楽団第35回定期演奏会、安野光雅「洛中洛外」と「司馬遼太郎との思い出の町」、など市内の17団体53事業と連携	市内各地	約 20,000人
10/15 (日) ～1/28 (日) 全5回のWS	「たんごのだんす、どうなっとるだぁ」 講師：宮北裕美	丹後文化会館 峰山地域公民館	8人
10/22 (日) ～2/3 (土) 全5回のWS	「京丹後ルネサンス」 講師：川田知志	大宮ふれあい 工房 丹後古代の里 資料館	8人
10/29 (日) ～1/20 (土) 全5回のWS	「みなみなさないをする」 講師：金井悠	郷土資料館 いさなご工房	4人
1/20 (土)	「知るプログラム～みなみなさないをする成果展」	郷土資料館	7人

1/28 (日)		「知るプログラム～たんごのだんす、どうなつとるだぁ成果発表」	丹後文化会館	約 40 人
2/10 (土) ～25 (日)		「知るプログラム～京丹後ルネサンス成果展」	大宮ふれあい工房	41 人
2 25 日	シンポジウム	京丹後アートフェスティバル 2023 報告会 このまちの文化芸術を考えるシンポジウム 第一部：京丹後アートフェスティバル 2023 開催報告 第二部：「このまちの文化芸術のこれから」	アグリセンター大宮	72 人
計(みるプログラム除く)				180 人

(1) みるプログラム

市内で開催される様々なアートイベントを包括し、17 団体 53 事業と連携し、充実した鑑賞の機会を創出した。

連携団体：網野町ふれあいコンサート実行委員会、NPO 法人TOMORROW、京丹後市文化協会、京都：Re-Search 実行委員会、丹後織物工業組合、丹後文化芸術祭実行委員会、たんたんのうのう会、丹後吹奏楽団、丹後万博開催実行委員会、丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会、寺島千絵、文化のまちづくり実行委員会、文化芸術発信強化実行委員会・文化庁連携プラットフォーム、ヒカリ美術館、三津の灯台アートプロジェクト実行委員会、和久傳ノ森

(2) 知るプログラム

プロのアーティストの視点や表現方法を用いて、地域の文化的資源を掘り起こす、連続ワークショップ。全 5 回のワークショップを通して、多様な表現、創作方法を知り、そのプロセスや参加者同士の交流の中で、郷土や歴史、地域課題等への気づきを促す。

1 年目のテーマは「多様な表現を知る」。2 年は創作に、3 年目は発表することに注力する。

① 「たんごのだんす、どうなつとるだぁ」

伝統舞踊、ヒップホップやモダンバレエなど様々なサークルと、そこで踊り楽しむたくさん子どもたちがいるこの京丹後で、多様なダンス表現を知り、舞台制作の裏側に触れることで「ダンスとは何か?」「どうやったらよい公演が作れるのか」実践を通して体験する。将来、丹後にしかない新しいダンスフェスティバルの開催を目指す。

② 「京丹後ルネサンス」

小牧源太郎の作品鑑賞、学芸員によるレクチャー、資料館での資料制作、それらをもとにしたフレスコ画の制作体験を行う。序盤は、小牧のモチーフや構成、形式に対するの思いを学び、資料館では、古代丹後の歴史からモチーフを見つけ、小牧の絵画制作に重ねた画面構成を行い、最後にフレスコ画の制作を体験することによって、丹後半島の古典から小牧源太郎の絵画制作までを一連のワークショップとして繋ぐ。

本ワークショップで制作したフレスコ画は、成果発表として展覧会を行った。

③ 「みなみなさないをする」

郷土資料館での鑑賞体験をもとに、この町の新たな郷土資料を想像する(創造する)ワークショップ。ワークショップをとおして「自分なりの視点を育くみ、想像力(創造力)を養う力」を引き出し、『見えないものを見る力』に気づくきっかけを与える。

(3) シンポジウム

アートフェスティバルの開催報告と、今後の市の文化振興について考える。

登壇者：近藤のぞみ（芸術文化観光専門職大学講師、京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議アドバイザー）、金井悠、川田知志、宮北裕美（アーティスト、「知るプログラム」講師）、松本経一（京丹後市文化協会会長）、安達純（京丹後市教育委員会事務局生涯学習課長）

<成果・課題>

「みるプログラム」では、文化芸術振興計画「基本方針1 活動機会の充実」、「基本方針5 情報発信」、「基本方針6 文化芸術をまちづくりに広く活かす」をもとに企画した。

これらの情報発信については、市ホームページと新たに専用のインスタグラムを開設したほか、普段、文化芸術に興味のないひとにも手に取ってもらえるよう、中身を見てみよう、思い出に取っておきたくなるような、そんな能動性を引き出すデザインを、京丹後と岡山を拠点とするデザイナーコチャエとともにアートマップとして制作した。

実際に、市内の高校生からは、「普段、自分に関係のないチラシは捨ててしまうけれど、これだけは取ってある」という声や、「行政っぽさがなくデザイン性が高いので、店頭に置きたい」と言ってくる飲食店などがあり、企画段階での目標は達成できているのではないだろうか。

「知るプログラム」では、「基本方針1 基本施策1の質の高い文化芸術を体験する機会の創出」、「基本方針2 基本施策2の専門的な指導者の活用」、「基本方針4の次世代へ文化的資源の継承」、「基本方針6 基本施策2の地域・世代・国籍などを越えた交流」をもとに企画し、5回のワークショップを経た参加者アンケートでは、回答者全員がワークショップを「大変よかった」「よかった」と答え、9割が「丹後の文化的資源に関心を持った」と回答した。また、体験と交流の質を高めるために、少数かつ連続講座というかたちをとったことで、すでに作家活動をされていたり、将来、絵画教室を始めたいなど、創作に意欲の高い層が発掘できたこと、また良し悪しを評価せず、参加者同士を競わせない本プログラムは、自分らしくいられ、安心できる場所だったという声も聞かれた。

次年度の「知るプログラム」では、より創作について力を入れていく予定であるが、参加者アンケートでは全員が「次年度以降のワークショップへ参加したい」という回答があり、こちらもおおよそ企画段階でのねらいは達成できている。

全体をとおしての課題としては、今回新たな情報発信を行いながらも、「みるプログラム」のバスツアーは最少催行人数に達せず中止に、また「知るプログラム」についても、市内外から広く応募があったものの定員を満すまでには至らなかった。特に、将来このまちの文化芸術やまちづくりを担っていく10代の若年層の参加は乏しく、プログラムの実施時間や会場（までの交通機関等）についても検討する必要があるようだ。

●特別展「小牧源太郎展」（京丹後市教育委員会事務局 文化財保存活用課）

実施日	内 容	場 所	来場者数
10/21（土） ～11/12 （日）	京丹後市大宮町出身で日本のシュルレアリスムを代表する画家・小牧源太郎の作品約30点を展示し、その軌跡をたどる。	大宮ふれあい工房	436人
10/22（日）	京丹後アートフェスティバル2023「小牧源太郎展ギャラリートーク」（生涯学習課） 解説：清水智世（京都府文化博物館学芸員）	大宮ふれあい工房	32人
		計	468人

●「ECHO あしたの畑一丹後・城崎」企画展示「丹」（主催：NPO 法人 TOMORROW 共催：京丹後市教育委員会事務局 文化財保存活用課）

実施日	内 容	場 所	来場者数
10/7（土） ～11/26 （日）	COSMIC WONDER デザイナーの前田征紀氏が丹後古代の里資料館の企画展示室内にて、かつてこの地で生き、丹波国を築いた人の眠りの痕跡を見つめ、古代と現代をつなげる試み。資料館の所蔵品と、丹後・三坂神社墳墓群から出土した朱の土から触発された衣を前田氏が制作、展示。	丹後古代の里資料館	507 人
計			507 人

④京丹後市の補助事業

●Kaico-参加型アートプロジェクト「町を縫う」（京都 Re:Search 実行委員会（京都府、宮津市、京丹後市教育委員会、伊根町、与謝野町、海の京都 DMO ほか））

実施日	内 容	場 所	来場者数
8/18（金）	学 ぶ 編 プログラム 1 ① レクチャー「アートプロジェクトって何だろう？」 ② クロストーク「アートプロジェクトとまちづくりの関係性」	クロスワークセンターMIYAZU	50 人
9/9（土）	実践 編 プログラム 2 「町を縫う」 in 京丹後	金刀比羅神社周辺	18 人
9/7（日）～ 10/20（土） 全 13 回の WS	出張ワークショップ	roots こまねこまつり 等	352 人
10/21（土） ～11/4（土）	共有 編 プログラム 3 プロジェクト参加者により制作されたテキスタイル作品の展示	ふるさとミュージアム（丹後郷土資料館） 屋外広場	979 人
11 4 土	クロ ー ジ ン グ ① ワークショップ「町を縫う mix」 ② ラウンドトーク「“アートプロジェクトって何だろう？”はどうだった？」	ふるさとミュージアム（丹後郷土資料館） 屋外広場	①25 人 ②100 人
計			1,584 人

●丹後文化芸術祭

実施日	内 容	場 所	来場者数
8 27 日	舞 台 アマチュアロックフェスティバル 出演 15 団体 47 人	丹後文化会館	300 人
9 23 土	第 39 回丹後吹奏楽フェスティバル 出演 14 団体 320 人	丹後文化会館	813 人

11	19	日		第 44 回丹後合唱のつどい 出演 11 団体 192 人	丹後文化会館	302 人
11	23	祝		第 39 回丹後民踊のつどい 出演 13 団体 58 人	丹後文化会館	215 人
12	10	日		第 28 回丹後和太鼓フェスティバル 出演 6 団体 96 人	丹後文化会館	340 人
12	24	日		第 35 回ジュニア文化祭 出演 8 団体 228 人	丹後文化会館	700 人
10/26 (木) ~28 (土)			展 示	第 34 回丹後美術工芸展 出展 118 人 218 点	網野体育センター	577 人
1/24 (水) ~29 (日)				第 36 回写真丹後展 出展 61 点 34 人	峰山地域公民館	100 人
8	20	日	セ ミ ナ ー	丹後合唱講習会	丹後文化会館	68 人
計						3,415 人

●京丹後文化のまちづくり実行委員会

会議	日時	主な内容
1	4/20 (木)	・令和 4 年度事業報告・決算報告について ・令和 5 年度事業計画案・予算案について
2	7/11 (火)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語）について ・西本智実 Music Edutainment の取組み紹介について
3	8/3 (木)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語、アートフェスティバル）について
4	9/8 (金)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語、アートフェスティバル）について
5	9/29 (金)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語）について
6	10/31 (火)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語）について
7	12/11 (月)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語）について ・来年度以降の事業について
8	2/2 (金)	・廃校になった学校の校歌保存事業について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・文化芸術を体験する機会の創出事業（落語）について ・来年度以降の事業について

9	3/11 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃校になった学校の校歌保存事業」について ・郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業について ・来年度以降の事業について
---	-------------	--

《事業実施》

a. 文化芸術を体験する機会の創出事業

取組① 落語体験塾と取組② 京丹後落語三人会を開催し、京丹後市民に本物の落語のすばらしさに触れる機会を提供することができた。

取組①-1 「落語体験塾」

日時 令和5年11月9日(木) 13時30分から14時55分まで

会場 網野中学校柔剣道場

対象 網野中学校2年生74人

内容 落語家 桂塩鯛さん、桂佐ん吉さん、桂慶治朗さん他お囃子等スタッフ2名による落語体験のワークショップ。

取組①-2 「落語体験塾」

日時 令和5年11月10日(木) 13時30分から14時55分まで

会場 アグリセンター大宮多目的ホール

対象 大宮中学校1～3年生237人

内容 落語家 桂塩鯛さん、桂佐ん吉さん、桂慶治朗さん他お囃子等スタッフ2名による落語体験のワークショップ。

取組② 「京丹後落語三人会」

日時 令和5年11月10日(金) 18時00分開場 18時30分開演

会場 アグリセンター大宮多目的ホール

内容 落語家 桂南光さん、桂塩鯛さん、桂吉弥さん、桂佐ん吉さん、桂慶治朗さん、他お囃子等スタッフ2名による落語会

入場料 一般4,000円 高校生以下1,500円

来場者 246人(チケット251枚販売)

b. 廃校になった学校の校歌保存事業

閉校した学校の歴史を振り返り次代へ引き継ぐ活動として、子の成長に対する願いや地域の景観を歌った素晴らしい校歌を楽譜や音源として残す。

・旧吉原小学校校歌

令和5年8月11日(金・祝) ピアノ伴奏録音、合唱録音

会場：いさなご小学校体育館

参加者：33名

令和5年10月4日 進呈式

会場：いさなご小学校校長室

・旧橘中学校校歌

令和5年11月26日(日) 合唱録音

会場：橘小学校体育館

参加者：33名

令和5年12月27日(水) 進呈式

会場：網野中学校校長室

・旧網野小学校、旧磯小学校校歌

令和6年2月3日(土) 合唱録音

参加者：京丹後市少年小合唱団協議会 19名

・旧五箇小学校校歌

令和6年3月16日(土) 合唱録音

会場：峰山林業総合センター

参加者：33名

令和6年3月27日(水) 進呈式

会場：いさなご小学校校長室

c. 郷土芸能・伝統行事のデータベース化事業

【補助対象】

取材月	開催地区	祭事場所	内容
8月	久美浜町河梨	万灯山	「虫送り」マンドリ
10月	大宮町奥大野 弥栄町井辺 弥栄町溝谷 網野町浜詰	若宮神社 穂曾長神社 溝谷神社 志布比神社	太刀振り・神楽 神楽舞 屋台・太鼓台 太鼓台

【補助対象外】

取材月	開催地区	祭事場所	内容
5月	峰山町	金峰神社	神輿渡御
8月	丹後町袖志	九品寺	僧侶祈祷
10月	大宮町周枳	大宮賣神社	三番叟・太刀振り・神楽等
	その他 14箇所		

●TANGO まるっぽ美術館（主催：丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会）

実施日	内 容	場 所	来場者数
11/7（火）～ 28（日）	福祉とアートを横断する観点から、丹後地域の文化を育み、分野や属性を超えた人と人のつながりをつくることを目的に「TANGO まるっぽ美術館」を実施。メイン会場のセンターレホテル京丹後では、作品展示に加え、絵画制作ライブや点字体験、音楽パフォーマンスを開催。	京丹後市役所 丹後 庁舎	300人
11/7（火）～ 12/4（月）		弥栄ゆう薬局	
11/17（金） ～19（日）		センターレホテル 京丹後 風のチャペ ル	
11 18 土			
12/6（水）～ 12/20（水）		つねよし百貨店	
計			300人

⑤ 京丹後市文化協会 活動支援

実施日	内 容	場 所	参加
4 25 火	京丹後市文化協会総会	峰山地域公民館	36人
5 21 日	京丹後アートフェスティバル プレイ イベント 第13回総合文化祭「舞台芸能祭」	丹後文化会館	1,007人
5 31 水	京丹後市文化協会サークル公開練習・体 験会 参加団体：16団体	アグリセンター 大宮 他	175人
6 10 土 11 日	京丹後アートフェスティバル プレイ イベント 第13回総合文化祭「総合作品展」	大宮社会体育館	700人
9月～12月	京丹後市文化協会加盟団体 PR 配信事業 ～ぶんか、楽しんでます！～ 撮影：関西ケーブルテレビジョン レポーター：吉本興業所属 京都府住み ます芸人「きやろっときやべつ」 参加：12団体	市内各所	-
2 25 日	京丹後市文化協会研修会 京丹後アートフェスティバル「シンポジ ウム」	アグリセンター大宮	35人
計			1,953人

⑥ 京都府丹後文化事業団 活動支援

京都府丹後文化会館主催事業

実施日			内 容	場 所	来場者数
4	30	日	丹後映画大好き劇場 No.72 「桜色の風が咲く」	丹後文化会館	190 人
5	28	日	丹後映画大好き劇場 No.73 「ある男」	丹後文化会館	308 人
6	25	日	丹後映画大好き劇場 No.74 「嘘八百 なにわ夢の陣」	丹後文化会館	145 人
8	5	土	伊沢拓司 講演会	丹後文化会館	395 人
9	1 2	金 土	なつかしの映画上映会 (優秀映画鑑賞推進事業)	丹後文化会館	171 人
9	10	日	夏井いつき句会ライブ	丹後文化会館	269 人
11/19 (日) ～11/23 (木)			第 53 回京都写真芸術家協会展	丹後文化会館	606 人
1	21	日	政本憲一プロデュース 政やの太鼓祭～京丹後 2024～	丹後文化会館	784 人
3	2	土	大阪交響楽団スプリングコンサート	丹後文化会館	532 人
3	10	日	丹後映画大好き劇場 No.75 「こんにちは、母さん」	丹後文化会館	438 人
計					3,838 人

基本目標	指標	カウント方法	H30 2018	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026	目標値 R9 2027	R10 2028	R11 2029	R12 2030	R13 2031	目標値 R14 2032
はぐくむ	子どもが質の高い文化芸術を鑑賞・体験する機会の回数	小・中学校に派遣された回数(1校1回のカウント)	4回	4回	—	5回				15回					30回
はぐくむ	文化芸術環境について満足と感じる人の割合	アンケート	—	15%	—	—				22%					30%
つなぐ	文化芸術に関する情報を身近に得ることができると感じる人の割合	アンケート	—	24%	—	—				40%					50%
いかにす	資料館、文化館の入館者数	郷土資料館、古代の里資料館、琴引き浜鳴き砂文化館の入館者数(文化財保存活用課から)	14730人	8237人	—	10685人				18300人					18800人
いかにす	市公式サイトでの文化芸術に関する情報ページの閲覧数	広報広聴課に確認	21072件	13393件	—	10,321件				19000件					22000件

※R5は市HPのメンテナンスの都合上、10～11月の2カ月はカウントできません。

⑦ 数値目標の達成状況